

番号	事業内容		実施体制	実施計画（現時点でのイメージで今後変更あり）				目指す姿
	案			2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）	2021（H33）	
（１）武雄温泉駅（新幹線・在来線）高架下空間の整備								
1	案	武雄温泉駅（新幹線・在来線）高架下空間に観光物産交流施設の整備〔ハード整備〕 □現在の観光交流センターとの機能調整（観光案内所、飲食、休憩・待合、土産店）	武雄市	JR等へ高架下空間利用要望	在来線・新幹線高架下空間の運営方法等の検討、JR等高架下空間の使用願についての回答　基本設計	実施設計	本体工事	○駅高架下空間で西九州エリアの魅力を感じることができる
2	案	総合観光案内所の運営 □駅で荷物を預けて宿で受け取るサービス　□手荷物一時預かりサービス（駅に荷物を預けて手ぶら観光）□大きなキャリーケースが入るロッカー□交通案内（レンタカー、バス、タクシー、レンタサイクル等）□観光案内（温泉、やきもの等）□ボランティアガイド　□レンタカー受付カウンター（総合案内所横に設置）□案内所にバス案内をデジタル表示させる□広域地図の作製	武雄市観光協会	レイアウト素案 案内機能の整理	案内機能の整理	案内機能の協議	案内機能の試験実施	○観光地案内や機能を充実した案内所を観光客が利用している
3	案	飲食店等施設出店・待合所の運営 □特産のさがびよりのおにぎりを食べられる（売店・飲食店）□佐賀の酒、立ち飲み（地のもの、器、珍味（いのしし、ムツゴロウ））□佐賀のお酒の飲み比べの店　□コインで日本酒を飲める（越後湯沢駅）□飲食店を増やす・ランチのお店　□飲食スペースを増やす　□多目的広場として活用（ラーメン横丁、マルシェ等）□ご当地駅弁　□キッズルーム　□テーブル・カウンター　□Wi-Fi	武雄商工会議所 武雄市商工会 武雄市観光協会 武雄飲食業協会		飲食等運営方法	運営主体との協議 武雄名物、ご当地グルメ企画	運営主体との協議	○魅力的な物販、飲食店舗等を多くの観光客や市民が利用している
4	案	特産物販売・土産の販売 □武雄にしかない物産、土産販売　□西九州エリアの特産品販売　□道の駅のような市内特産品、野菜など日常の食品が購入できる店　□コンビニ	武雄商工会議所 武雄市商工会 武雄市観光協会		物販運営方法	運営主体との協議	運営主体との協議	
5	案	駅改札のIC化・ICカードが利用できる改札の設置 □在来線駅改札をICカードで利用できる	JR九州 武雄市		調査・JRへ要望	JRへ要望	JRへ要望	○駅改札をICカードで利用できる
6	案	デジタルサイネージの設置、運用 □ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディア□観光PV（武雄・西九州の魅力をPR）□電子看板□デジタルを駆使した旅の提案□新幹線改札口を出た柱にデジタルサイネージの設置又は配線	JR九州 武雄市		（駅舎建築に関すること）		課題分析、効果設定 サイネージ活用設計	コンテンツ施策設計 運用設計、体制構築
7	案	乗換ホームに観光パネル等の設置 □楼門パネル　□観光パンフレットの設置　□乗り換え時に武雄を印象付ける音楽を流す　□駅に降りたくなるような目玉、しかけ、アナウンス□電子看板（デジタルサイネージ）又は配線	JR九州 武雄市	（駅舎建築に関すること）		要望事項の整理 JRへ要望	JRへ要望	○乗換ホームで武雄を印象づける
8	案	駅通路内の誘導案内表示 □駅通路にバス、タクシー乗り場への誘導案内表示を設置	バス事業者 タクシー事業者 JR九州			案内表示の整理・要望	設置	○案内表示を見ながら観光客が誘導されている
9	案	レンタサイクルの充実 □レンタサイクルの受付場所□一人乗り、二人乗り、電動自転車等の設置□ペビーカー	武雄市観光協会		レンタサイクル増設			

番号	事業内容	実施体制	実施計画（現時点でのイメージで今後変更あり）				目指す姿
			2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）	2021（H33）	
（２）駅前広場の整備							
1	駅御船山口から出て、バス、タクシー、送迎車に乗ための歩道に庇やベンチを設置 案 □バス、タクシーに乗るまで雨に濡れない庇の設置 □送迎車、バスの待合のための施設充実（ベンチ・屋根）	武雄市	活用計画	活用計画	実施設計	工事	○駅から雨に濡れないような快適な空間を通して次の交通手段に乗換えられる
2	観光客が路線バスを利用して次の目的地に迷わず行くことができるような案内表示を設置 案 □バス停の行先別の表示は分かりやすく（1番乗り場○○行き、2番乗り場××行き） □バス停までの誘導表示 □バス乗り場の集約	バス事業者 武雄市	新庁舎、図書館を通る路線の拡充	利用状況確認	のりば、案内表示内容の協議	表示の設置、点検	○案内表示を見て目的地に行く
3	一般車の一時駐車場とバス待機場の設置 案 □一般車の一時駐車場の拡大 □観光バス待機場の必要台数確認（多すぎでは） □ 観光バス置き場は、観光バスが駐車していない時間には多目的に活用	武雄市	活用計画	観光バス待機場の必要台数調査	実施設計	工事	○安全な走行ができる車道があり、一時的に駐車できるバス、タクシー、一般車の駐車場が確保されている
4	温泉情緒の演出 案 □景観、温泉街の雰囲気演出 □大砲、銅像の設置（歴史的な財産を活かす） □駅前に降りて撮影したくなる物 □広場や歩道の舗装は、新幹線駅舎と統一感を持たせる □足湯 □指湯 □駅前温泉 □保養村の給湯管を駅周辺まで持ってくる（駅前ホテル、体育館、福祉施設へ配る）	武雄商工会議所 武雄市観光協会 武雄温泉旅館組合 武雄市	活用計画	活用計画	実施設計	工事	○観光に訪れた人をおもてなしする場所になり、広場で観光客が写真をとっている。

番号	事業内容	実施体制	実施計画（現時点でのイメージで今後変更あり）				目指す姿	
			2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）	2021（H33）		
（３）回遊性のある観光地づくり								
1	案	駅、図書館、楼門を回遊するメインルートの整備	武雄市 民間事業主	メインとなる回遊 ゾーンの設定	回遊ルートの設定、 魅力向上方策の企画	魅力向上策の試験的事 業展開	看板等のハード整備	○回遊性が向上し、歩 くことが楽しいと感じ るまち（道）になって いる。 ○観光客が絵になる場 所を写真に撮ったり、 休憩したりしながら街 歩きやサイクリングを 楽しんでいる。
	□自転車専用レーンの整備 □メインストリートの設定、ネーミング □ 管町緑地の活用（銅像、写真スポット） □観光地看板の統一 □駅・図書 館・楼門の動線を分かりやすくする □駅・図書館・楼門をつなぐオルレ の様な標識とルート □歩道には、現在地から目的地までの時間を表示す る □現在地からの距離マップを各地に設置 □徒歩、自転車で散策した くなるしかけ □クイズ形式で街を歩かせる □雑貨街等のおしゃれな街並 み □歴史を記載したマップ（数百メートルごとのポイント） □武雄川の 河川敷を歩かせる（水辺の活用） □武雄川ランニングコース □イベント の写真を色々な施設へ掲示 □温泉街を歩く（歩ける仕組みをつくる） □ 温泉街の雰囲気、街並み景観、宿場町、大正ロマン □「旬の地場もの」 もてなし料理、弁当 □古さ（楼門エリア）と新しさ（図書館エリア）が 共存する散策							
2	案	メインルート内新幹線高架下空間に広場の設置	武雄市 民間事業主	JR等へ高架下空間利用 要望	活用計画、 先進事例研究		ハード整備	○昼も夜も人が立ち寄 り交流が生まれる場所 になっている
	□移動販売車（キッチンカー、軽トラ市） □コンテナ商店街 □飲食、休 憩所、子供の遊び場設置 □ランチの店 □西九州エリアのうまかもんの 店（飲食・特産品販売）を誘導 □武雄産農産物を使った郷土料理の店 □手作り作家の店（小物づくり） □足湯体験 □ドッグラン（ペットフ リーの街） □高架柱に主要施設までの誘導表示 □きれいで歩きやすい歩 行空間 □ミストシャワー設置（暑さ対策） □夜の屋台 □構造物がない 広場（夜市） □光の演出、地面への埋め込み照明の設置 □タクシーや運 転代行の待機所 ※武雄の新たな魅力づくりにつながる場所であり、高架下空間の利用方 法によって整備が異なるため、早期に検討							
3	案	駅周辺に駐車場の整備	武雄市	活用計画	活用計画、 駅周辺駐車場台数調 査、必要台数			○駅を利用する人が使 用できる駐車場が確保 されている
4	案	メインルート内の商店にテイクアウトメニューの紹介とベンチ設置 の協力を依頼する	武雄商工会議所 武雄市商工連合会 川端通り商店会 武雄飲食業協会		あり方研究	回遊ルート内への協力 依頼		○散策の途中に滞留、 休憩できるようなベン チ等が設置されてい る。
	□テイクアウトメニューの紹介（寿司、バーガー、コロッケ等） □木陰・ 休憩ベンチの設置協力依頼							

番号	事業内容	実施体制	実施計画（現時点でのイメージで今後変更あり）				目指す姿
			2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）	2021（H33）	
5	夜の観光の魅力向上 □ナイトスポットマップ（図書館、市役所、居酒屋、バー、競輪、温泉、御船山、神社）□公共施設の活用 □団体夕食受入場所の拡大 □夜市、ランタン □通年開催の夜のイベント □若者が集まるイベントの開催（大人の夜会等）	武雄商工会議所 武雄市商工会 川端通り商店会 武雄市観光協会 武雄飲食業組合 タクシー事業者 武雄市	「武雄のあかり展」実施	企画 試験的事業展開	企画 試験的事業展開	企画 試験的事業展開	○夜の時間を観光客が楽しんでいる。
6	訪日外国人観光客受入環境の整備 □外国人観光客へのガイド □韓国語、中国語に対応できる店の表示□韓国語・中国語の標識案内 □キャッシュレス決済（小売店、バス、タクシー等）□外貨両替・クレジット対応銀行ATMの設置	武雄商工会議所 武雄市商工会	市内店舗において、多言語対応HP導入	課題整理	受入環境の充実度	受入環境整備	○訪日外国人観光客が増え、市内の消費拡大につながっている。
7	駅と観光客が訪れたい施設を結ぶバスの定期便の運行 □市街地を巡回する周遊バス（駅⇒楼門⇒御船山⇒図書館⇒物産館を廻る）。「バス協議会」ヘルート協議を依頼 □市街地の一部エリアに100円バスの導入 □駅・図書館・楼門を結ぶシャトルバス（外国人は歩く）□駅・図書館・楼門専用バス時刻表 □駅のバス乗り場の一本化 □広域観光、生活路線、福祉としての活用	バス事業者 武雄市観光協会 武雄市	運行路線の確認 新庁舎、図書館を通る 路線の拡充	・部会設置、情報交換 ・武雄市地域公共交通網形成計画の策定	・関係者との協議及び調整 ・運行計画案作成	・運行計画案作成 ・地域公共交通会議 ・許認可手続き ・広報、説明会等	○広域観光、生活路線としてバスが利用されている。
8	短時間滞在者用の散策ルートの開発 □駅前観光 □駅の南北で対象者（男性、女性、若者、高齢者）にあった観光ゾーンづくり □1～2時間程度の観光モデルコース □丸山公園へ駅北口からのルートづくり □白岩運動公園・丸山公園を明るく美化する □丸山公園を街・新幹線を撮る写真スポットに整備	武雄市観光協会 武雄市		散策ルートの企画	試験的事業展開	散策ルートの開発	○複数のモデルコースができ、観光客が散策を楽しんでいる。
9	テーマ性のある多様な旅の開発 □武雄の歴史・蘭学を学べる施設 □焼き物の町として窯元の紹介 □イベント（駅前広場、高架下）□地元が一致団結した継続的なイベント □長期間開催イベントの開発（あかり展の様なイベント）□ゆかたで歩かせる仕掛けづくり □夜の街の楽しみ方 □ちゃんぽん街道スタンプラリー □旅行の目的としての「食」の充実	武雄商工会議所 武雄市商工会 武雄市観光協会 武雄飲食業組合 タクシー事業者 武雄青年会議所 武雄市	「武雄の明治維新」 「武雄のあかり展」等 実施	観光資源の整理 資源の磨き上げ	企画提案書の作成	試験的事業展開	○武雄の魅力的な資源に観光客が訪れる。 ○観光客が通年切れ間なく分散して訪れる。
10	市民の新幹線開業機運を高める □市民への周知（市報、ポスター、会報、チラシ等）と地元の協力 □高齢者への情報発信 □開業カウントダウン	すべての団体	広報誌等への掲載	広報誌で紹介	広報誌で紹介 開業機運醸成検討会	広報誌で紹介、 開業告知資材の作成	○新幹線武雄温泉駅開業が認知されている ○市民の間に、新幹線を利用した地域振興や商業振興を積極的に行っている機運が広がっている。

番号	事業内容		実施体制	実施計画（現時点でのイメージで今後変更あり）				目指す姿
	案	[取組みアイデア] ※取組みアイデアは、確定したものではない		2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）	2021（H33）	
（４）広域観光地と協力								
1	案	駅の観光案内所における広域案内機能の充実	武雄市観光協会 武雄市	ネットワークづくり	ネットワークづくり	案内機能の整理	案内機能の試験実施	○観光案内所が周辺地域の拠点として機能している
		□広域観光案内所の整備（外国人観光客に対応できるスタッフの配置、周辺市町の観光情報）□広域市町連携するには人材（数）確保						
2	案	バス、タクシー、レンタカー等の交通手段の充実	バス事業者 タクシー事業者 武雄市	長崎空港への乗合タクシー運行（パイロット事業の実施）	・部会設置、情報交換 ・武雄市地域公共交通網形成計画の策定	・関係者との協議及び調整 ・運行計画案作成	・運行計画案作成 ・レンタカー事業者と協議 ・地域公共交通会議 ・許認可手続き ・広報、説明会等	○交通拠点として広域へ移動するための交通手段が充実している。
		□博多～武雄～鹿島までの高速バスの運行 □路線バスの整備、新幹線との接続を意識したダイヤ編成（鹿島・伊万里方面）□武雄を拠点として周辺市町の拠点施設、観光名所への交通手段の充実（バス、レンタカーなど）□公共交通の充実（観光・通勤）□唐津、伊万里、鹿島へのアクセス向上 □長崎本線減便を踏まえた鹿島・祐徳稲荷神社へのアクセス向上 □長崎空港への乗合タクシー等の運行						
3	案	広域観光周遊メニューの開発	武雄市観光協会 バス事業者 武雄市	ネットワークづくり	ネットワークづくり	部会設置、観光資源の整理、企画提案書の作成		○広域にある観光地と協力してエリア内をめぐる多くのツアー造成がされている。
		□有田、伊万里、波佐見、鹿島、佐世保との周遊メニューを共同で作る □広域観光周遊エリアに名前を付ける □ハウステンボスの入園と武雄の「温泉、御船山、日本庭園」をセットにしたメニューの開発 □周辺市町観光施設の周遊するしかけ（バス、割引チケットなど）						
4	案	旅行代理店へ商品開発依頼	武雄市観光協会 武雄市	営業活動	営業活動	営業活動	営業活動の強化	
		□長崎とセットでの観光商品を開発してもらう □武雄を経由（起点）に周辺市町を観光する旅行商品の開発⇒旅行会社への営業						
（５）情報発信の強化								
1	案	福岡、関西に対するプロモーションの強化	武雄市観光協会 武雄市	情報収集	営業活動	営業活動	営業活動	○魅力的で質の高い情報により、観光客の来訪が増している。
		□温泉街としてのイメージの定着（景観・温泉街の雰囲気などの演出） □食の魅力発信 □外から見た武雄市・市内の点検 □武雄温泉駅通過者に対する発信 □博多駅、長崎駅の発車表示板、アナウンス						
2	案	武雄市のPRビデオの作成	武雄市観光協会 武雄市	市プロモーション動画作成	市プロモーション動画活用	活用再研究	動画作成	
		□観光PR動画 ※毎年更新が必要 □武雄市の魅力を伝える動画						
3	案	周辺自治体と連携したプロモーションの実施	武雄市観光協会 武雄市		ネットワークづくり	実施内容の企画	プロモーションの実施	
		□周辺自治体と連携した観光PR □武雄だけでなく周辺地域（広域）の観光情報を一体的に発信する □武雄温泉駅で降りて西九州エリアのイベントに行ってもらふキャンペーン						
4	案	開業直前プロモーションの実施	すべての団体			企画、準備	開業直前プロモーションの実施	
		□知名度を上げる □武雄と長崎の近さをアピールする □新幹線の停車する街だとPRする □有効的な情報発信						

番号	事業内容	実施体制	実施計画（現時点でのイメージで今後変更あり）				目指す姿
			2018（H30）	2019（H31）	2020（H32）	2021（H33）	
（6）定住促進							
1	住む町としての魅力発信 □武雄の空き家対策、子育て制度、教育など特色ある取り組みを長崎の方に知ってもらう □移住体験の機会をつくる□個別に物件・生活環境をアピールして転入者を増やす	すべての団体	空き家バンク 移住者への補助金助成	情報発信 移住体験	情報発信 移住体験	情報発信	○「住んでもらうための新幹線」という活用 法を行い、移住者増と 地元市場規模の拡充に つなげる。 ○普段は歴史、温泉、 自然の豊かな武雄で生 活し、用件のある時だ け気軽に都市を訪れる というライフスタイル
2	雇用の拡大と人材の確保 □大規模農業の農業法人化による就農率向上 □高校、大学を誘致、学生アルバイトの確保 □定住者、若者が就きたい職業、仕事の場	武雄商工会議所 武雄市商工会 佐賀県農業協同組合 武雄市観光協会 武雄市	企業合同説明会等	企業合同説明会等	企業合同説明会等		
3	往復割引切符等の検討 □通勤、通学向け新幹線乗車割引□博多・武雄間の特急列車の2枚切符を博多・佐賀駅間と同様に普通運賃並みにするようJRに働きかける（開業前までに）	JR九州 武雄市		JR九州へ要望	JR九州へ要望	JR九州へ要望	
4	新幹線通勤者向けの支援 □定住支援制度 □新幹線利用者向け通勤、通学への助成	武雄市				支援内容の検討	